

令和6年度 全国学力・学習状況調査及び 山口県学力定着状況確認問題の結果について（美祢市）

I 全国学力学習状況調査の結果

令和6年度全国学力・学習状況調査の結果についてお知らせします。

1 調査の概要

(1) 目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

(2) 調査期日 令和6年4月18日（木）

(3) 調査を実施した校数・児童生徒数

学年	学校数	児童生徒数
小学校第6学年	11校	児童数 121人
中学校第3学年	5校	生徒数 153人

2 美祢市の結果

(1) 教科に関する結果

	小学校		中学校	
	国語	算数	国語	数学
美祢市	58	52	59	46
山口県	68	64	58	52
全国	67.7	63.4	58.1	52.5

【教科の出題の具体より (() は県平均との差)】

小学校
国語

- △ 日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気付くことができる (-16.2%)
- △ 登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えることができる (-15.6%)
- △ 資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができる (-15.4%)

小学校
算数

- △ 計算に関して成り立つ性質を活用して、計算の仕方を考察し、求め方と答えを式や言葉を用いて記述できる (-24.0%)
- △ 折れ線グラフから必要な数値を読み取り、条件に当てはまることを言葉と数を用いて記述できる (-15.8%)
- △ 百分率で表された割合について理解している (-8.4%)

中学校
国語

- ◎ 具体と抽象など情報と情報との関係について理解している (+7.1%)
- ◎ 行書の特徴を理解している (+8.5%)
- △ 観点を明確にして文章を比較し、表現の効果について考えることができる (-5.3%)
- △ 表現の技法について理解している (-5.0%)

中学校
数学

- ◎ 問題場面における考察の対象を明確に捉え、正の数と負の数の加法の計算ができる (+3.7%)
- △ 等式を目的に応じて変形することができる (-22.6%)
- △ 連続する二つの偶数を、文字を用いた式で表すことができる (-13.8%)

【特に課題が大きかった内容（ ）は県平均との差】

小学校
国語

日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気付くことができる (-16.2%)

【原さんの読書の記録】

日付	題名	日付	題名
4/10～4/11	大逆じいさんとガン 感想	4/21～4/25	栗の王子さま 感想
「いつまでも、いつまでも、見まもってました。」という最後の一文が心に残った。残雪への気持ちが変わるところに感動した。		キツネが「心で見なくちゃ」と話したところが、形のないものの大切さを考えるきっかけになった。	
日付	題名	4月のふり返り	
4/27～4/29	はらっぱのおはなし 「オニグモじいさんの朝ごはん」 感想		
「わしが食って生きているのはな、朝日のひかりだよ」という言葉に心があたたくなった。シリーズの他の作品も読みたい。			


- 1 読書を通して、学校図書館や地いきの図書館の利用の方法を知ることができると気づいた。
- 2 読書を通して、科学的な事実について、疑問に思ったことを調べて解決できると気づいた。
- 3 読書を通して、自分が文章を書くときに役に立つ書き方を学ぶことができると気づいた。
- 4 読書を通して、自分の心にひびく言葉や今までになかった考えを見つめることができると気づいた。

四 原さんの学級では、日ごろから読んだ本を記録しています。次は、「原さんの読書の記録」です。原さんは自分の記録を読み返し、気づいたことを、下の1から4までのの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

小学校
算 数

計算に関して成り立つ性質を活用して、計算の仕方を考察し、求め方と答えを式や言葉を用いて記述できる (-24.0%)

2

トラック1台で、350 kgの米を運ぶことができます。 350 kg


(1) まず、あやのさんたちは、このトラック2台では、何kgの米を運ぶことができるかについて考えました。

 あやの


 2台

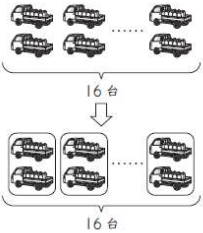
$350 \times 2 = 700$ で、
700 kgの米を運ぶことができます。

次に、このトラック16台では、何kgの米を運ぶことができるかについて考えています。

 はやて

式は 350×16 です。筆算をしようかな。

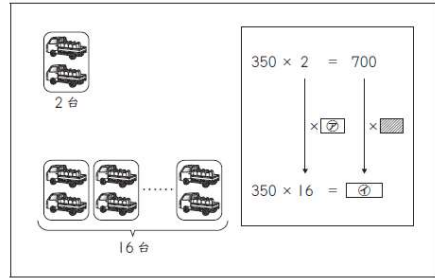
 あやの

 16台

筆算をしなくても、 350×16 の答えを求めることができます。
2台のときの米の重さをもとにすれば、16台のときの米の重さがわかります。

小算-3

そこで、あやのさんたちは、下の図のように、 $350 \times 2 = 700$ であることをもとに、 350×16 の種の求め方についてまどめました。
このとき、 350×16 のかける数「16」が、 350×2 のかける数「2」の何倍になっているかに着目しました。



上の㊦に入る数に着目すると、 350×16 の種㊦は、どのように求めることができますか。
㊦に入る数に着目したときの㊦の求め方を、式や言葉を使って書きましよう。そのとき、㊦に入る数をどのように求めたのかがわかるようにしましよう。
また、㊦に入る数も書きましよう。

小算-4

中学校
国 語

表現の技法について理解している (-5.0%)

4

田中さんは、国語の時間に、テーマを決めて短歌を集め、友達に紹介するための資料を作っています。次は、田中さんのフートの一部です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

フートの一部

テーマ：月と風景

A (意味) まるく様子の
〔長澤一作の短歌〕
暮れた

B (意味) 清らかな様子
〔外園隆の短歌〕
やんだ

C (意味) 広げし恋しいる(じ)の
〔森岡貞香の短歌〕
月の光 あたた 暮れた

挿した

〔注〕 欄外に「かきかき」ともいう。

- 1 「風さやか」の部分に、擬人法が用いられている。
- 2 「底に月待つ」の部分に、直喩が用いられている。
- 3 「萩すすき」の部分に、例置が用いられている。
- 4 「鯛の声をみし夕暮れ」の部分に、体言止めが用いられている。

二 田中さんは、AからCまでの短歌によまれている情景の時間帯が異なることに気づきました。――欄外④、⑤、⑥に着目して、夕方から翌朝へという時間の流れに沿って順番に並べ替えることになりましたか。A、B、Cを適切に並べ替えて書きなさい。

中国-20

中国-19

等式を目的に応じて変形することができる (-22.6%)

2 等式 $6x + 2y = 1$ を、 y について解きなさい。

II 山口県 4 月確認問題の結果

令和 6 年度全国学力・学習状況調査と同時期に実施いたしました、山口県 4 月確認問題の結果についてお知らせします。

1 調査の概要

(1) 調査期日 令和 6 年 4 月 1 8 日 (木)

(2) 調査を実施した校数・児童生徒数

学年	学校数	児童生徒数
小学校第 5 学年	1 0 校	児童数 1 1 2 人
中学校第 1 学年	5 校	生徒数 1 5 0 人
中学校第 2 学年	5 校	生徒数 1 2 5 人

2 美祢市の結果

(1) 教科に関する結果

	小学校第 5 学年	
	国語	算数
美祢市	58.7	60.3
山口県	61.2	63.2

	中学校第 1 学年		中学校第 2 学年		
	国語	数学	国語	数学	英語
美祢市	72.3	61.7	59.7	44.7	50.9
山口県	74.2	60.5	68.3	49.0	51.9

全国学力学習状況調査及び4月確認問題の分析及び取組

- 美祢市の子どもたちの抱える課題として、既習学年における基礎・基本の定着が不十分な子どもたちも多くみられます。
- 国語科においては、条件付き作文をはじめとした表現力に課題がみられました。
- 算数・数学科においては、単純計算はできても、計算の意味理解や、活用といった部分で課題がみられました。

このような課題を受けて、美祢市では以下のような取組を行いました

- ① 子どもたちの学力の定着状況に応じて把握を行い、その子に応じた支援の検討
- ② 全教職員や地域・保護者の方の協力を得て、前の学年の内容から復習を行う、全校体制の学び直しの時間の設定
- ③ 子どもたちが自己選択・自己決定を行いながら、主体的に学びを進める自由進度学習による授業改善

Ⅲ 山口県学力定着状況確認問題の結果

前項の取組を経て11月に実施された、山口県学力定着状況確認問題の結果についてお知らせします。

1 調査の概要

(1) 調査期日 令和6年11月11日(金)～18日(金)の学校が定める任意の日

(2) 調査を実施した校数・児童生徒数

学年	学校数	児童生徒数
小学校第5学年	10校	児童数 112人
小学校第6学年	11校	児童数 120人
中学校第1学年	5校	生徒数 150人
中学校第2学年	5校	生徒数 124人

2 美祢市の結果

(1) 教科に関する結果

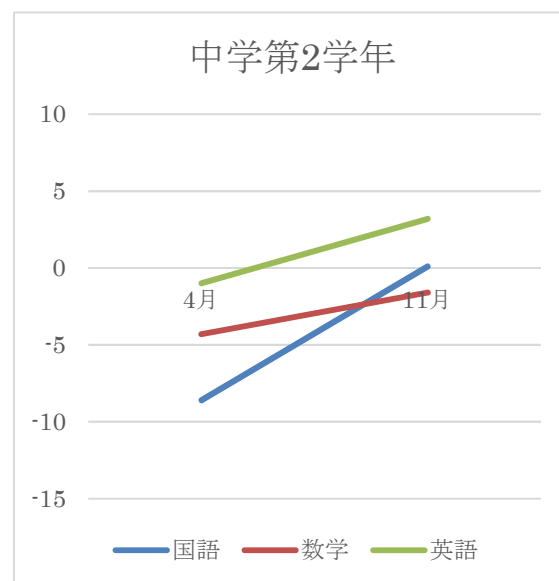
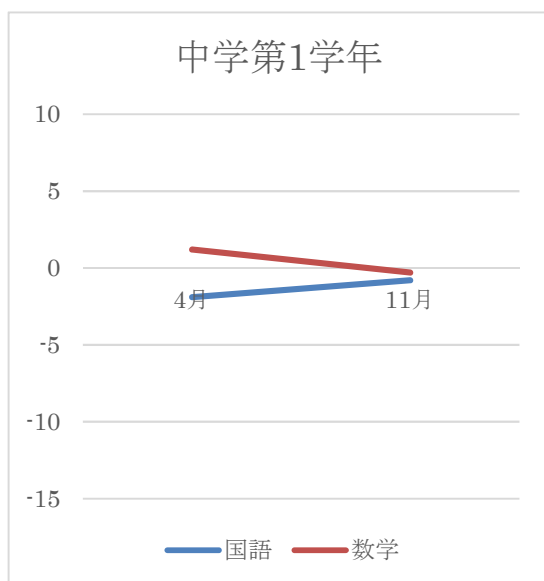
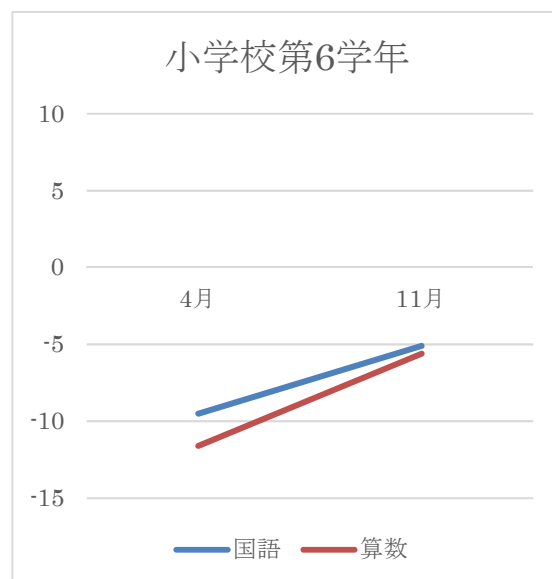
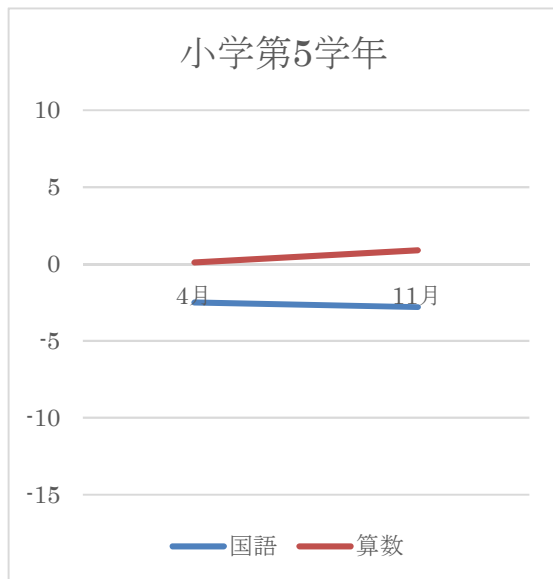
	小学第5学年			小学第6学年	
	国語	算数	理科	国語	算数
美祢市	66.3	55.4	54.7	59.7	46.1
山口県	69.1	55.3	53.8	64.8	51.7

	中学校第1学年	
	国語	数学
美祢市	61.8	58.3
山口県	62.6	58.6

	中学校第2学年			
	国語	数学	理科	英語
美祢市	57.9	50.4	43.9	50.0
山口県	57.8	52.0	45.0	46.8

(2) 4月各種調査と11月調査との比較

下のグラフは、県全体の平均を0とした際の、4月から11月の変化をグラフ化したものです。



11月山口県学力定着状況確認問題の分析及び取組

4月の全国学力・学習状況調査や4月確認問題と11月山口県学力定着状況確認問題の結果結果についてその変化を比較した際に、多くの教科で改善している様子が見られます。

これらは、各学校において全校体制での学び直しの取組を充実させたり、一人ひとりの学力の状況を見直し、個に応じた指導の工夫を進めたりしてきた結果であると考えられます。

さらに、子どもたちが自己選択・自己決定をしながら主体的に学習を進める、自由進度学習による授業改善を進めたことによる、子どもたちの学習意欲の向上がみられました。

しかしながら、基礎的な計算や文章表現などの基礎的・基本的な内容の定着についていまだに課題も見られます。以下の点を重点取組事項として、今後も子どもたちの確かな学力の定着に向けて取り組んでまいります。

- ① 子どもたちの学力の実態把握と取組内容の検討
- ② 子どもの主体的な学びを支える授業改善
- ③ 各学年で身に付けるべき基礎・基本の定着に向けた取組